

# 関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会 [提言(案)の概要]

○今日、科学技術や産業等をめぐる状況が大きく変化し、学研都市が果たすべき新しい役割が求められている。  
○そこで、「関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会」を設立し、セカンド・ステージ・プラン以降の学研都市の目指すべき方向について審議を行なった。

## ■学研都市の課題と新たな時代変化

○学研都市は、着実に都市としての集積が図られ、多くの研究成果があげられ、市民活動も活発に行われているが、一方で、行政間、クラスター（地区）間、立地機関間の相互の連携や、市民も含めた各主体間の領域を越えた連携が必ずしも十分でない。  
○その結果、学研都市全体としてのまとまりが弱く、情報発信も不足し、都市全体としての総合力が十分に発揮されていない状況にある。

### 学研都市における現状の課題

- (1) 学研都市としての研究機関等の総合力の発揮が不十分
- (2) 都市の賑わいや利便性の不足
- (3) クラスター（地区）開発の遅れ、多くの低・未利用地の存在
- (4) 交通基盤整備の遅れ

### 踏まえるべき新たな時代変化

- (1) 研究開発に求められる機能の変化、新産業の創出に向けた課題
- (2) 文化分野の新たな拡がり
- (3) 国際化の著しい進展に伴う学術研究都市の課題
- (4) 居住ニーズ、ライフスタイルの多様化への対応
- (5) 新たな都市の建設・運営にかかわる課題

## ■これからの学研都市の取り組みの方向性

### (1) 学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

- ① 学研都市全体の一体化の促進、総合力の強化
- ② 近畿リサーチ・コンプレックスの中核として、研究開発プロジェクトの推進
- ③ 持続可能な社会の実現に向けた新たな研究分野への積極的な取り組み

### (6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

- ① 関西国際空港等へアクセスする道路、各クラスター（地区）間を連絡する道路の早期整備
- ② 鉄道、バスの輸送力の強化、利便性の向上
- ③ 事業中のクラスター（地区）の整備促進
- ④ クラスター（地区）の特徴に応じた低・未利用地の有効活用

### (2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

- ① 地域の特性に応じた研究開発型産業施設・生産施設の立地促進
- ② 大学間のネットワークを核とした産学官連携の強化
- ③ 産学官連携を促進するため、学研都市の情報交流機能等の強化
- ④ 中堅・中小企業の支援、ベンチャー企業の育成による新産業の創出

### (3) 学研都市発の新たな文化の創造

- ① 文化教育機関の機能の高度化と連携の促進
- ② デジタル文化やコンテンツ産業などの新たな産業文化の創造
- ③ 地域に密着した学研都市固有の生活文化の創造

### (5) 多彩で魅力的な創造都市の形成

- ① 創造性を育む魅力的な街の形成
- ② 学研都市としての一体化、市民と研究機関等との交流
- ③ 賑わいのある拠点地区の形成と景観・自然環境への配慮
- ④ 「体験し学ぶ新たな観光」の推進
- ⑤ パイロット・モデル都市の展開

### (4) より世界に開かれた国際的な都市への展開

- ① アジア地域を中心に世界各国との交流連携を目指して
- ② 外国人研究者等の居住や一時滞在のための環境整備

### (7) 本格的な都市活動を支える「都市の建設・運営」の展開

- ① 高度な運営に対する大学・専門家を中心としたアドバイザー体制の確立
- ② 広域的な都市の建設を推進するための体制の確立
- ③ 近畿全体で学研都市を支える体制の確立

## ■サード・ステージ・プランの早期策定